

9 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
1	富山県のバス停留所	先日富山県を訪れた際に、路面電車停留所の椅子の設置を見て、ぜひ徳島県でも検討していただきたいと思いました。 徳島ではバスを待つお年寄りが、座る所がない停留所で、とても危ない道路の縁石に腰をかけて待っている姿をよく目にし、とても辛い思いになります。 富山県で見たものは2つあり1つめは、アスティ徳島の座席のような、使用したい時に開けるタイプで、立ち上がると勝手にたためるプラスチック製のもの、2つめは、例えて言えば、運動場の鉄棒のような形をした、座らずにただもたれるだけのタイプですが、お尻の所だけ少し座った感じになり、これだけで楽にバスが来るのを待つことができると思います。場所も取らずに設置しやすいと考えます。 以前腰が悪い時に、整形外科の待合室で、このタイプがあり、座るより楽に待つことができました。 バスの便数が減る一方ですが、高齢者は増える一方です、お金はかかりますが、安心安全の優しい設置のご検討をよろしくお願いいたします。 (写真を撮ってきましたが、お見せできず残念です)
2	徳島東環状線昭和町ランプのゴミについて	徳島東環状線昭和町ランプを通りましたが、ランプウェイの両側に隙間なくゴミが散らかっている相変わらずの状態であれば通りたくないというのが正直な感想でした。 一度綺麗にしたのに再度ゴミが散らかったという様子ではなく、積もり積もって今の状態になっている感じです。 このようになってしまった原因は徳島県民のモラルの低さにありますが、まずは一度ゴミを回収して綺麗にしてくださいようお願いします。 (同じ東環状線の住吉のオンランプも同じようになりかけています) ※ 以前に同様内容のものを送信したと思うのですが、対応していただけていないようです

	タイトル	意見等
3	クルーズ船の寄港岸壁	県のホームページに徳島小松島港のクルーズ船の寄港日程と着岸する岸壁のリストが掲載されている。それを見て不思議に感じたのは対象になる岸壁が4か所もあるということ。金磯、赤石、沖洲（外）、本港。本港ってどこだろうか？ 日程的には阿波踊りの最盛期である8月中旬がピークで、毎日のように寄港している、それでも1日1隻。1年間で20回前後か？ 今後は増加するとは思いますが。 クルーズ船の受け入れにはレセプション用の設備や待合室に駐車場（送迎バスやタクシー、見物客用等）、入管手続きシステム等の整備が必要でその維持管理コストも必要である。それを徳島で4か所も構える必要性、意味は存在するのか？ 寄港岸壁を周知する体制も欠かせない。 赤石などはガントリークレーンを増設してコンテナヤードを充実させようと岸壁の工事をするべく設計中のはず。 「選択と集中」ではなくて原資の分散と中途半端な実行に終わりそうな気がする。 どこか1か所で大型の岸壁をつくり、複数のバースを構築すれば効率的ではないか？
4	大鳴門橋について	大鳴門橋では自転車道の整備が予定されていますが、将来四国新幹線を敷設することを想定して整備してほしいと思います。 大阪・関西万博での徳島ブースの成功や道の駅うずしおが淡路島南あわじ市でリニューアルオープンなど、未来に向け希望のある成果が出ていると思います。 自転車を大鳴門橋を渡り、将来ここに新幹線が走るとの希望を持ち、四国新幹線の気運を熟成していくことが大事でしょう。 また新幹線の新徳島駅（仮）の位置についても想定していくべきではないでしょうか。 岡山-高松-徳島-洲本-和歌山-関空-難波-梅田-新大阪ルートが開通すると、観光やビジネス、また移住者増加など大きな経済効果が生まれる可能性があります。 四国と関西のみならず、中京圏、中国・九州地方や海外から多くの人々が南海道（阿波・淡路・紀伊・讃岐・伊予・土佐）や和泉地域（関西国際空港・岸和田など）を訪れることでしょう。

9 都市基盤・まちづくり

	タイトル	意見等
5	駅前再開発	先日徳島駅周辺を歩き街の衰退をひしひしと感じました。特に徳島駅から徒歩1分程度の場所にあるポップ街。以前からシャッター街化し人通りの少ない場所と認識はしていましたが改めて通って見るとその衰退ぶりに驚かされます。人口の少ない地方都市ではありますが駅からわずか徒歩数分の商店街があつた衰退ぶり。誰も何も開発案を出さないのが不思議でなりません。 県外の方が徳島へ旅行に来ると必ず驚かれると思いますし、県民としても残念でなりません。 新町西地区の再開発も動き始め、新ホール建設や新アリーナ建設等、県内の主要施設の開発が盛り上がっているこのタイミングでポップ街を含めた徳島駅前の再開発案も考えて欲しいです。アミコビルも老朽化していますし、元町2丁目付近も大通りに接していながら老朽化が激しい建物が沢山あります。 四国他3県ではさまざまな分野で再開発が活発化しているそうです。 徳島は再開発の事業化まで比較的長い時間がかかっているイメージがあるので他県に遅れを取らない為にもこのタイミングしかないと思います。 水の都として、環境も見た目も美しい街にしていきたいです。
6	命と生活（暮らし）を守る新国土づくり	○ 後藤田正純徳島県知事は南海トラフ巨大地震や豪雨災害に備えて、徳島県民一人一人の生命・財産・生活（暮らし）を守る新国土づくりを行わなければならない。 ※ 具体的には、吉野川第十堰可動堰化事業の工事着工 ※ 具体的には、那賀川水系細川内ダム建設事業の工事着工 ※ 具体的には、徳島県海岸沿岸部に高規格海岸堤防（スーパー海岸堤防）の工事着工 ⇒ 三陸海岸高規格海岸堤防の例
7	歩道の植え込み（楓）	国府竜王団地西、県道30号線沿い、両側歩道に植わっている植え込み（楓） 今年も、毎年のごとく業者によって剪定がされました。剪定された木は、道路沿いの景観としては、この上なくさっぱりしたものです。木の枝が剪定されている状況を、県の関係者は、確認されていますか？ 木は、ただ剪定したらいいというものではないと思います。そこに持つ景観と、安全性が大丈夫だろうか？そう思いませんか！ 一度、竜王団地西の道路沿いに植えられている。剪定された楓の木の高さを教えてください。あの高さいりますか？というに5mほどはあります。 できればもう少し低くして、災害時に、倒壊して歩行者、その近くの民家に被害を及ぼす恐れもあります。早急に確認をして、対象していただけないか？